

デザインの精度を上げるため第2次プレゼンテーションを大阪芸術大学で開催。



第1回プレゼンテーションを終え、黒壁からの意見や要望をお伝えし、川村さんや下司さんのお話を踏まえた内容でデザインのブラッシュアップを進めるべく、後日大阪芸術大学キャンパスで第2次プレゼンテーションを開きました。

製造可能な形状や描画可能な柄、子ども歌舞伎のテーマに添うラフデザイン案を10数点に絞込み、その中からそれぞれに微調整して欲しい要望をお伝えして、最終の第3次プレゼンテーションへ進めていきます。



この時点では3Dプリンターによるモックアップ提案、同じ大学内にあるガラス工芸コースの教授でもありガラス工芸作家の山野宏教授に参加して頂き、ガラス素地の制作とそれに施すデザイン柄を漆で描いて見栄えや機能性、耐久性を検証していきます。予定では2018年の3月には試作品が完成。関係者や学生の期待が膨らみます。

(つづく)

